



中東呼吸器症候群(MERS)について	1ページ
5病棟の生活のひとコマ②／三重病院外来糖尿病教室7月のお知らせ	2ページ
「やまぼとギャラリー」情報コーナー!／異動のごあいさつ／編集長バトンタッチのごあいさつ	3ページ
アレルギー教室のクッキング／外来からのお知らせ／医事課よりお願い／外来診察のご案内	4ページ

中東呼吸器症候群について

(Middle East Respiratory Syndrome: MERS)

5月末から現在まで韓国で感染が広がっているMERSというのは、英語のMiddle East Respiratory Syndromeの頭文字を取った略語で、日本語では、中東呼吸器症候群と言います。これは2012年にサウジアラビアで感染して、英国に搬送され治療された重症の肺炎患者ではじめて発見された、新種のコロナウイルス(MERSコロナウイルス)によって引き起こされる呼吸器感染症です。

ウイルスはどこから来たのか?

原因のMERSコロナウイルスは現在までのところ、もともとオオコウモリが自然に保有していることがわかっていますが、これがラクダ(ヒトコブラクダ)に感染すると、ラクダは風邪のような症状を来して、鼻水を出したりします。アラブ首長国連邦やオマーンでの調査では、ほぼすべてのラクダが一度はこのウイルスに感染しているようです。ラクダが飼育されたのちに、人と接するようになるのは生後1歳くらいですが、この時期のラクダでは35.3%がこのウイルスに感染してウイルスを出していると報告されています。もちろんラクダは感染しても自然に治るので、2歳を過ぎたラクダでは、2.9%しかこのウイルスを保有していないとされています。ヒトはこのウイルスを排出している時期のラクダと接触することにより感染しますが、ラクダのミルクや不十分な加熱の肉からも感染するとされています。

感染したヒトの症状は?

感染したヒトは最初、発熱と鼻水や咳の症状で始まります。若い人や抵抗力のある人は軽い風邪くらいで治ってしましますが、高齢者や抵抗力が落ちるような持病(基礎疾患と言いますが、糖尿病、慢性呼吸器疾患や腎疾患、悪性腫瘍やその治療中などです)があると重症の肺炎を起こし、死亡することがあります。また腸にも感染することがわかっており、下痢など消化器症状を起こすこともあり、



(東北大学中島一敏博士より)

便にもウイルスが出ます。致死率はこれまでのところ、40%程度とされています。このウイルスに効果のある治療薬や予防するワクチンは現在のところありません。

ヒトからヒトへの感染はどのように起こりますか?

このウイルスはヒトの肺の中でよく増えますので、その咳とともに出てくる痰や呼吸器飛沫のなかにウイルスがたくさん含まれています。一緒に住んでいる家族や、患者を治療したり介護したりする医療従事者は、患者さんに近いところで接触しますので、これらの呼吸器飛沫を吸い込んだり、痰や唾液などの体液に接触することによって感染します。

韓国では中東(バーレーン、アラブ首長国連邦、サウジアラビア、カタール)に旅行した68歳の男性が、5月4日に韓国に帰国後5月11日に発病し、いくつもの病院を受診、5月15日に一つの病院に入院しましたが、治らないために2日で退院して、さらにいくつかの病院を受診して、最終的に5月20日にソウルの大病院でMERSと診断されました。しかしながら、当初はすぐにはMERSとはわからなかったため、最後に入院した病院を含めて、いくつかの病院のなかで、同じ病室や病棟にいた患者さん、一緒に待合室にいた患者さん、お見舞いに来た人、医療従事者などに感染が広がりました。6月22日現在で、患者数は172人、死亡者は27人となっていますが、これまでのところ、すべて医療機関で感染しており、町中で感染した患者はいません。

日本にも入ってきますか?

このウイルスはラクダから人に感染しますし、依然として中東地域では感染者が発生していますし、ヒトからヒトへの感染も報告されています。だれでも中東に行って、ウイルスを出しているラクダと接触したり、MERSの患者さんと接触したりすれば感染する可能性はあります。